

## 第 15 回アンケート結果 (抜粋)

### 1. 一般講演 3 : 「設計部の生産性を考える (i-DSM による設計プロセス設計から見えてくるもの)」

1. 設計プロセスを固定化すると柔軟性に欠けた技術者になると思いますが、いかがでしょうか？>  
>固定化ではなくて、定石を明らかにして伝えたいのが趣旨です。実践はたいていその応用になります。その際、基礎学力も必須です。技術の進歩に伴って定石も変わりますが、i-DSM は変更管理も容易と思っています。
2. 実体験を聞いた発表で、現場の継承・引き継ぎにおける重大な問題を理解しました。同様の失敗を起こさないためには継承が必要であり、期間内に着目した i-DSM 手法に大きな興味がわきました。
3. 「ベテランは多忙で、手順書を整備する暇がありません」という課題に対して、(最後のスライドのお話を受けた) 手順書を整備するよりも、講座とテストを作り、社内規格化するのが素直な伝承の仕方かなと思いました。>>講座・社内規格の素材となる設計手順書が無い場合が多いです。それをなるべく楽に作るための手法とご理解ください。
4. 非常に興味深かった。ソフトウェアの設計プロセスにも応用できると思いました。>>IPO で繋がればメカに限らず、職種混合 (メカ、エレキ、ソフト) プロセスも扱えますと謳っています。
5. 合理的な調整の仕組みは、非常に有効と思いました。>>ご賛同ありがとうございます。私のエンジニア時代の実感から提唱しています。
6. 情報が多すぎて分かりにくい。
7. 着眼点は正しいと思われるが、普及拡大しない理由は何か…。新製品開発設計プロセスで実証研究してはどうかと考えます。>>幾つかの案件で実証済みですが、設計者の工数捻出がネックで案件に至らない場合もあります。営業力の弱さも一因と考えます。“開発設計プロセスを一度見直したい”という方をご存知でしたら、ご紹介よろしく申し上げます。